

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
210009	XZY3210009			国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
		2	前期	情報文化学部情報文化学科	共通	選択	3年
国際法	熊谷 卓			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	共通	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	共通	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通	選択	3年

授業目的

地球という「惑星」にはおよそ 200 の主権国家が存在し、そこには 50 億人をこえる人々が日々の生活を送っている。国際法 (International Law) というものは主としてこれらの国家関係を規律する法規範の総体をいう。今日の国際事象をみていると、国際社会において守られるべきルールとは何かあらためて問われているように思われる。本講義では、現代の諸問題について国際法がなしうること、それについて検討する。言うまでもなく、受けて良かった!と思える講義にしたい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】オリエンテーション

【前・後】開講時に指示します (以下の欄も同様です)

第2回

【授】国際法はどのように発展してきたのか?—伝統的国際法の性格

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第3回

【授】現代国際法はどのような特徴を持っているか?—1

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第4回

【授】現代国際法はどのような特徴を持っているか?—2

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第5回

【授】国際法はどのように作られ、どのように適用されるのか?—条約と国際慣習法—1

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第6回

【授】国際法はどのように作られ、どのように適用されるのか?—条約と国際慣習法—2

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第7回

【授】人権の国際的な保護の発展—1

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第8回

【授】人権の国際的な保護の発展—2

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第9回

【授】国際法で個人を裁く—1

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第10回

【授】国際法で個人を裁く—2

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第11回

【授】国際社会の司法権?—国際紛争の平和的解決と国際裁判—1

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第12回

【授】国際社会の司法権?—国際紛争の平和的解決と国際裁判—2

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第13回

【授】世界の中での日本はどうする?—国際法と日本の立場—1

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第14回

【授】世界の中での日本はどうする?—国際法と日本の立場—2

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第15回

【授】まとめ

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第16回

【授】試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

主として試験による成績評価

教科書参考書

開講時に指示

受講に当たっての留意事項

本科目は、ある程度専門性の高い科目です。そのため、「現代ヨーロッパ論」をはじめとする国際学部の専門科目を複数、履修済みの者を受講対象と考えています。その意味で言えば、初学者に対しては受講を勧めません。

学習到達目標

国際法学のアウトラインの習得

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習